

北鶴橋小学校・鶴橋小学校 学校適正配置検討会議（第4回） 会議録

1 日時

令和5年5月30日（火） 午後7時から

2 場所

鶴橋小学校 生活科室

3 出席者

(委員)

石山 豊子委員、井上 恵滋委員、岩佐 清巳委員、川北 和敏委員、藤井 智顕委員、
政木 茂晃委員、宮代 久也委員、森口 勇委員

(学校)

光井 栄雄 北鶴橋小学校長
近藤 英幸 鶴橋小学校長

(教育委員会事務局)

筋原 章博 生野区担当教育次長
小原 聡 生野区教育担当部長
近藤 律子 学校環境整備担当部長兼生野区役所こども未来担当部長
徳元 公美 首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長
山東 昌弘 学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長
中條 勝統 生野区役所地域活性化担当課長兼生野区教育担当課長
岡永 直記 学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化
担当課長代理
竹中 一郎 生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理兼教育政策課生野区教
育担当課長代理
村田 良平 学事課担当係長
藤井 啓太 生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育政策課担当係長
白石 秀一 生野区役所地域まちづくり課兼教育政策課担当係員
角野 真希 生野区役所地域まちづくり課兼教育政策課担当係員

(生野区役所)

大川 博史 生野区役所企画総務課長

(傍聴) 1名

4 議題

- (1) 安全対策専門部会メンバーについて
- (2) 校名について
- (3) その他

5 会議資料

- ・次第
- ・配布資料1 北鶴橋小学校・鶴橋小学校 学校適正配置検討会議 委員名簿
- ・配布資料2 令和5年度新入生用 大阪市生野区学校案内
- ・議事資料 校名案の進め方について

6 会議内容

(竹中生野区教育担当課長代理)

本日、司会を務めさせていただきます、生野区役所の竹中でございます。どうぞよろしくお願ひします。

本日、川上委員につきましては所用により御欠席ということをお聞ひしております。また、高岡委員ですけれども少し遅れるということをお聞ひしておりますので、御報告だけさせていただきます。

それでは開会に先立ちまして、生野区長より御挨拶させていただきます。

(筋原生野区担当教育次長)

皆様、こんにちは。生野区担当教育次長の筋原でございます。

本日はお忙しい中、また足元の悪い中、お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。コロナのほうもやっと落ち着きを見せてまいりまして、先日の日曜日には北鶴橋小学校、鶴橋小学校で運動会も開催をされまして、やっとコロナの制限もなくなってきた、地域、学校の活動も再開されてきて、また盛り上がってみえてまいりますのでうれしく思っているところでございます。

本日の検討会議でございますけれども、新しい通学路の安全対策を検討していただく、安全対策専門部会のメンバーを御報告いただくことと、また新たな小学校の学校名を決めていく方法などについて御意見を頂戴してまいりたいと考えております。

なお、議題の前には今後、学校再編に向けて様々なことを検討していただくに当たりまして、現在両小学校で行っておられる学校の取組や特色などの情報につきまして、校長先生から改めて委員の皆様へ情報提供をさせていただきたいと考えています。

議題のほかにも御意見、御提案などありましたら遠慮なくおっしゃっていただければと思っております。本日もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございます。

(竹中生野区教育担当課長代理)

すいません。この会議につきましては会議録作成のため録音させていただきます。なお、録音の関係上、発言の際、必ずマイクのほうを御使用いただきますようお願いいたします。

今回から検討会議委員、変更ございましたので、まず最初に御報告のほうをさせていただきます。資料のほうを1枚めくっていただきましたら、学校適正配置検討会議委員名簿(変更後)というものがございます。御参照ください。木村委員に代わりまして藤井智顕様が検討会議委員として入られます。どうぞよろしくお願ひします。

また、高原委員に代わりまして、政木茂晃様、入っていただきます。どうぞよろしくお願ひします。

委員の委嘱状のほう、席のほうに置いておりますので、また持ち帰りください。なお、行政

職員のほうも4月に人事異動がございました。異動者の御紹介のほうを先にさせていただきます。

生野区副区長・生野区教育担当部長、小原部長です。

(小原生野区教育担当部長)

皆さん、こんにちは。小原と申します。よろしくお願いいたします。

(竹中生野区教育担当課長代理)

教育委員会事務局学校環境整備担当部長兼生野区役所こども未来担当部長、近藤部長です。

(近藤学校環境整備担当部長)

こんばんは。近藤と申します。よろしくお願いいたします。

(竹中生野区教育担当課長代理)

教育委員会事務局指導部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長、徳元課長でございます。

(徳元首席指導主事)

こんばんは、徳元でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(竹中生野区教育担当課長代理)

教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長、山東課長です。

(山東学校適正配置担当課長)

こんばんは、山東です。よろしくお願いいたします。

(竹中生野区教育担当課長代理)

生野区役所地域活性化担当課長兼生野区教育担当課長、中條課長です。

(中條生野区教育担当課長)

こんばんは、中條です。どうぞよろしくお願いいたします。

(竹中生野区教育担当課長代理)

教育委員会事務局総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理、岡永課長代理です。

(岡永学校適正配置担当課長代理)

こんばんは、岡永です。どうぞよろしくお願いいたします。

(竹中生野区教育担当課長代理)

生野区役所企画総務課長、大川課長です。

(大川生野区役所企画総務課長)

大川です。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

(竹中生野区教育担当課長代理)

また、校長先生も4月に異動のほうございましたので、御紹介のほうさせていただきます。
鶴橋小学校長の近藤校長先生です。

(近藤鶴橋小学校長)

近藤と申します。よろしくお願いいたします。

(竹中生野区教育担当課長代理)

すいません、ありがとうございます。

本日、議題に入る前に前回の検討会議で会議が開催される間で各委員から区役所等へ個別に御意見や御提案等をいただいた際には、皆様会議のときに御報告させていただいて共有させていただくということでしたが、今後、委員の皆様にも再編後の学校についていろいろと活発に御意見頂戴するために、現在の各学校の取組や特色などにつきまして御参考までに知っておいていただきたいと思っておりますので、先ほども話ありましたが、各校長先生からこれらについて御説明いただきたいと思っております。

まずは北鶴橋小学校、光井校長先生からよろしくお願いいたします。

(光井北鶴橋小学校長)

北鶴橋小学校、校長の光井と申します。よろしくお願いいたします。

お手元に学校案内というのがあると思うんですけど、ここの18ページのほうに載せさせていただいてます。これ全部やるとすごく時間かかってしまいますので、ざっくりとどんなことをしているのかということをお話させていただきます。

本校のほうは私、4年目になるんですけども、4つのCということでいろいろなことに、今までどおりで落ち着かずいろいろなことに挑戦していこう、変革していこう、そしてもう一つはみんな協力していこう、コラボレートという形で中心にやっています。

一番力を入れているところでいきますとICT関係を中心に力を入れてきています。今、本校のほうはマイクロソフトの直結スクールという日本では7校、世界では100校ぐらいあるということなんですけれども、公立では1校だけということで認定校を受けています。そのうちのここにMIEEと言って、その認定されている教員のほうも今5名いてるという形で、学校全体でICTを活用した授業というのを進めています。

この中心になってきているのは「GIGA School構想」というところもありますけれども、これから「Society 5.0」ということで、いろいろなこれが使えないとなかなか生きていくことが難しいんじゃないかということも入っているので、そういった力をしっかりと育んでいこうということでも中心でやらせていただいています。

ただ、ICTだけをやっているわけじゃなくて、国際理解教育等も中心にやっていっております。本校のほうには長年ある民族学級というのもあるんですけども、それを中心にしたという形ではなっておりますが、それだけではなくて昨今、中国からの多く本校のほうに入学しておりますので、中国語の中国学級、それからそれだけではなくて日本のほうもやっていこうということで日本の伝統文化ということで、こちらのほうに青年会のほうに来ていただきましてだんじりばやしを教えてもらいながら、その発表とかなんかもやる形にさせていただきます。本年度は琴のほうにも、文化琴のほうもやっていこうかなという形で考えております。そういった日本の文化、世界の文化ということをいろいろなことを知り合って、これからの国際社会で生き抜く力をつけていきたいなと思っております。

あとは学習のほうなんですけれども、少人数の学習のほうを進めております。特に力を入れているのは「コグトレ」という学習の方法なんですけど、認知力を高めるトレーニングという形を取らせていただいております。これのほうも本年度で3年目になるんですけども、着々といろいろなところで効果が表れておりまして、いろいろな大阪市の全市のテストのほうがあるんですけども、全市のテストのところの大阪市の7割、平均の7割以下のこういう数を減らしていこうという形で挙げさせていただいているんですけども、これが大幅に減少しております。そういった形で少しずつ成果を上げてきているかなと思っております。

あとにつきましてはいろいろなところに出てきていると思っておりますので、こちらのほうを見ていただいたらいいかなと思っております。

以上です。

(竹中生野区教育担当課長代理)

ありがとうございました。

続きまして、鶴橋小学校、近藤校長先生お願いします。

(近藤鶴橋小学校長)

失礼します。鶴橋小学校、校長の近藤です。

本校のほうなんですけども、まず特色として一番挙げられるのは安全安心ということで、鶴橋こども見守り隊の活動が挙げられます。集合場所から学校まで見守り隊の方が前後ついでに歩いて、自転車、車、歩行者等安全の確認をしながら正門前まで送っていただけるという取組を行っていただいております。

本当にいつも優しい温かい言葉をかけていただいて、子供たちが朝、安全に登校できているという姿があります。これは本当に本校の財産だなというふうに思っております。

2つ目は、地域の特色また地域の人材を活用したゲストティーチャーを招いた体験的活動です。例えば、図画工作に関して地域の方に来ていただいて、面白い作品づくりのティーチャーとして参加していただいて活動をしていたりだとか、地域めぐりというところで地域の方にいろいろな地域の有名な場所等々を紹介してもらいながら一緒に地域をめぐるといった活動などを行っています。地域の方ならではの説明であったりだとか、特色といたたらいいんですかね、をさせていただきながら、子供たちと交流をしながら学習を進めるというところがあります。

また、本校も単学級なので1年生から6年生までの縦割り班活動。1年生から6年生までが交流していろいろな取組をしています。一番大きなイベントとしては全校オリエンテーリング、全校で遠足に行く。また、毎週の集会活動であったりだとか、縦割りで掃除を試みたりだと

かという形で、全校みんなが一人一人の名前を覚えられるということができるようということで、縦割り班活動のほうを積極的に取り組んでおります。

あとはもう、学習面でいいますと習熟度別少人数学習。1クラス当たりの人数は少ないんですけども、さらに習熟度別に分けて学習に取り組んでいるということをしています。一人一人の子供がしっかり理解できるように丁寧な指導を続けております。

特色としては以上の点を挙げさせていただきます。

ありがとうございます。

(竹中生野区教育担当課長代理)

どうもありがとうございました。

ただいま両校の取組や特色につきまして御説明いただきましたが、続きまして以前の検討会議におきまして、委員からも御質問いただいておりました再編後の学校の教育環境の充実につきまして、事務局のほうから御説明させていただきたいと思っております。

(徳元首席指導主事)

失礼いたします。徳元でございます。

ただいま両校の校長先生方から各校での取組等についてお話いただきましたが、再編に当たりましては両校の特色ある取組、またよさを生かした取組等を紹介していただきましたが、そういったものをできる限り引き継いで統合後の学校の教育内容について教育委員会と両校が連携して検討してきたいと考えています。

また、3月の市会で議論もございましたが、統合後の中学校も含めた学校のビジョンにつきましても、教育委員会でも議論を始めているところでもございまして、いわゆる1小1中の形態ではない本市の進める小中一貫した教育を推進するモデルの一つとして位置づけていきたいと考えています。

具体的な中身は他の自治体での小中一貫校の取組の事例をお示しさせていただきながら、校長先生方と引き続き検討してまいります。

現在、既に両校では研究授業の相互参観であるとか、交流授業の実施などスムーズな統合へ向けた取組を進めていただいているところです。

1つご紹介いたしますと、産官学連携、企業との連携の取組を教育委員会第4教育ブロックとして行っていますが、その一環としまして、ロート製薬を中心にした企業グループ、幾つかの会社が協力して、キャリア教育を実施する取組を今まさに始めていこうというところですが、そちらを鶴橋小学校と北鶴橋小学校に合同で進めていただいているところです。来週にもその取組をスタートすることから、授業実践に向けて教職員の打ち合わせ等進めていただいているところです。

これらの取組を通しまして、子どもたちの統合への不安を少しでも軽減できるものと考えております。取組内容やその様子につきましては適宜、この検討会議でもお示しさせていただけたらと考えております。

どうぞよろしく願いいたします。

(竹中生野区教育担当課長代理)

ただいまの説明につきまして、何か御質問ございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。御質問ないようなので、議題のほう入っていきたいと思います。資料のほうはないんですけども、議題1、安全対策、専門部会のメンバーについてとなります。

今回選出されたメンバーについて御報告のほうをいただくことになっておりました鶴橋地域からはメンバー表のほうをいただきまして、こちらのほうお名前だけでも読み上げさせていただきます。

鶴橋小学校安全対策専門部会メンバーということで、飯田様、川上様、井上様、高山様、宮代様、政木様、細見様、東郷様、金島様、平井様、徳山様、山中様の計12名で御報告いただきました。うちPTAの方が7名ということになっております。

どうもありがとうございます。

続いて北鶴橋地域のほうからはメンバーのほう御報告いただけますでしょうか。

(委員)

北鶴のほうは、メンバー申し訳ありません、次回出させていただきます。PTAの役選も遅かったものですから、その辺の調整がなかなかいかないので申し訳ありません。

(竹中生野区教育担当課長代理)

分かりました。また専門部会のメンバーを出していただきましたら、専門部会のほうを開催いたしまして、会議内容、もし専門部会開催した場合には、会議内容のほうまた検討会議のほうに挙げさせていただいて、やっていきたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後でいいですか。

(委員)

説明いいですか。

安全対策専門部会、まだメンバー構成というところできてないんですけど、現時点では見守り隊の方とPTAの保護者さん、地域の方を中心に構成する予定です。

人数どれぐらい用意して、用意というかお願いしたらいいかというのは分からない状況で進んでたので、一応各団体さんにお話させてもらって、安全部会発足した際にはお力をお貸しくださいというので御理解をいただいているので、すぐに集まるとは思います。なので今度またぜひそれを報告させていただけたらと思います。

ごめんなさい、お時間いただくんですが、前に学校再編整備、今度通学路と安全対策というふうな資料をいただきまして、前に移動します。

すいません、説明させていただきます。

事前にいただきました区役所さんからの書類の中で、北鶴橋から鶴橋小学校に通学路で向かうときに、鶴橋本通り商店街を南下して、ここでバトンタッチというふうな形で御提案いただいていた。100人弱いてるので鶴橋は東西に長いので、1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、5丁目、七福通りと疎開道路で分けたときに、最低でも2か所、今これ検討委員でしゃべっただけで、専門部会の方にお話してないんですけど検討委員で話したら、2か所、この南タクシーさんの、鶴橋街道のほうに行くところと本通りと2か所に分けて通学路というのは設定できないのかなというふうに考えています。

また、鶴橋本通りですね、登校時はいいんですけど下校時にはどうしてもお店さんの看板と

か数多く出てますし、ここに施設があるんですけど、通行許可証を持った車が本通り入ってくるので、そういったところも安全対策として検討委員会で話できないかなというふうに思っています。

商店街もグリーンライン引いてもらって、商店街の方にも協力いただいて通学路の安全確保をしなければならないというふうにも思っていますし、現時点で行くと2つの場所で何なく引き渡して、バトンタッチで安全で確保ができたかなというふうに思っています。

また、詳細は安全部会発足した際に詰めていただけたらと思いますので、以上です。

(竹中生野区教育担当課長代理)

お願いします。

(委員)

先ほど鶴橋のほうのメンバーを読み上げていただいたんですけども、一応念のため役職も補足で言っておきますと、一応、構成メンバーのうちの現Pさん以外は一応連合の町会長さん、それと防犯部の相談役、あと防犯の支部長、それと青少年指導委員の代表の方、それと見守り隊から1名という形で構成しておりますので、もし何か参考になれば北鶴さんよろしくお願います。

(竹中生野区教育担当課長代理)

すいません、どうもありがとうございます。引き続きよろしくお願います。
この件については特によろしいでしょうか。

(大川生野区役所企画総務課長)

失礼します。北鶴橋さん、メンバーそんなに時間かからないという話もございましたので、もしメンバーの報告いただいて、できたらこの安全対策の話は早めに議論をスタートして、ルート自体の見直しも検討したらどうかということの御提案かと思います。その点、できるだけ早く議論をスタートして、ルートはもともと計画の案つくるときには校長先生と区役所、教育委員会、相談してルートの案をつくっているんですけども、そこもしっかり。またルートをどうしていくかということも含めてやって、その上で安全対策はどういうのができるか。ここで安全対策がとれなければ、思うほどとれなければルートの変更も検討しないといけないというふうになっていくと思いますので、メンバーの報告をいただいてそこから部会議をできたら一度開催をさせていただいて、そこで再度、今、計画案に記載してますルートの説明と対策の説明、そこをさせていただいて、そこで意見を頂戴して具体的に議論をスタートするという形で行ければと思いますので、特に問題なければそういう形でお願したいと思います。

(委員)

具体的に何月頃が第1回と想定されてますか。

(大川生野区役所企画総務課長)

この検討会議自体がおおむね三月に1回のペースでという形で検討会議は設定をさせていただくことになっています。それで行きますと次回が8月から9月ぐらいにということにはなっ

てくると思うんですけども、そこまでの間に部会をできれば2回ぐらい安全対策の部会を2回ぐらいできれば、その報告も含めて次回の検討会議で議論いただけたと思いますので、今、いつ頃という時期はまだ申し上げられませんが、そういうイメージで進めることができればと思いますのでよろしくお願いします。

(委員)

ありがとうございます。

(竹中生野区教育担当課長代理)

それではすいません、続きまして議題2、校名についてを事務局から御説明させていただきます。よろしくお願いします。

(中條生野区教育担当課長)

すいません中條ですけども、校名について、校名案の検討の進め方につきまして、前回は資料をお配りさせていただいているのと資料としては同じになるんですけども、今回から新しく委員になられた方もいらっしゃると思いますので、改めて考え方ですね、進め方について御説明させていただきます。

校名案の検討の進め方につきまして、右肩に議事資料というふうに書いている部分になりますけれども、こちらのほうですね、これまでの学校再編の事例を基にパターンを記載したものでございます。

①左側にありますけれども、こちらについては学校の名前の案を広く募集して、その案の中から絞り込んだ上で投票なりアンケートしまして、その投票結果なりアンケート結果を参考に検討会議で選定していくといった方法になります。

次に、②番、丸の部分になりますけれども、こちらのほうは検討会議の委員の皆様から校名の案を検討いただいて、そこから進めていくという方法になります。

その他ということで③についてはそれ以外の方法という形で挙げさせていただいております。

この資料の下部に表を挙げさせていただいておりますけれども、こちらのほうにつきましては平成28年以降に学校再編を行いました学校の校名の決定の事例を参考に記載させていただいているものになります。

校名案の検討の進め方につきましては、こちらの①、②、③の下段の部分を御参考として御覧いただきまして、決定までのスケジュールにつきましてはまだまだ時間ございますので、また次回以降、検討会議のほうで実際、考え方、検討、進め方、どうしていくのかという具体の議論は進めていただければよいかと思っております。

以上になります。よろしくお願いいたします。

(竹中生野区教育担当課長代理)

ただいまの説明につきまして何かご意見、御質問等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それではその他としまして何かございましたらご意見のほういただきたいと思っております。

それでは本日の議題以上となります。

次回の検討会議でございますけれども、8月の下旬を予定させていただきます。また改めて日

程調整のほう近づいてきましたらさせていただきたいと思いますので、またどうぞよろしくお
願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。